

# 熊本子ども囲碁便り

No. 2 1 2013. 9. 20

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



## 囲碁と将棋が集い交流！



### 「第一回 RKK 少年少女囲碁将棋大会」

8月18日（日）熊本市東部市民交流センターにおいて「第一回 RKK 少年少女囲碁将棋大会」が開催され、トーナメントの部で田中一光君（出水中3年）が見事優勝、「第一回 RKK ジュニア肥後本因坊」を手にしました。

（主催：熊本放送・日本棋院熊本県本部・日本将棋連盟熊本県支部連合会）

当日は、囲碁部門に久保秀夫六段（日本棋院理事）、鶴山淳志（七段）、吉原由香里六段、将棋部門に中田功七段、豊川孝弘七段のゲストを迎え第一回にふさわしい豪華な会になりました。

参加者も保護者を含め200名をこえ（囲碁部門 トーナメント7名・交流戦71名・入門50名）酷暑の中、会場は熱い戦いが繰り広げられました。会場の一角では、吉原由香里六段の入門教室も開催され、親子で囲碁を楽しむ様子が見られました。また、午後は囲碁を学んでいる子どもが将棋を、将棋にエントリーした子どもが囲碁を学ぶなど、囲碁と将棋の相互交流もできました。

囲碁、将棋のチビッコ棋士が一堂に会することは全国的にも珍しいことです。“RKK BOYS&GIRLS”のキャンペーンの一環として、この会は来年以降も開催されることが主催のRKKより発表されています。

暑い中、お手伝いいただきました皆さまにお礼を申し上げます。



写真右より

第一回 RKK ジュニア肥後本因坊 田中一光くん（出水中3年）

準優勝 森美咲希さん（玉名中1年）・3位 芦田華さん（熊大附属小6年）

4位 岐部敏志くん（玉名中3年）

# 「第一回 RKK 少年少女囲碁将棋大会」から・・・

開会宣言をする囲碁代表・芦田華さんと将棋代表・伊藤凜くん

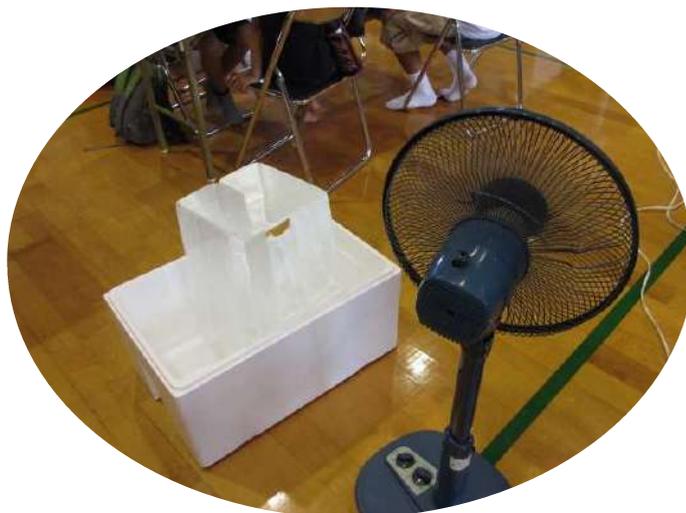
右から久保秀夫六段・鶴山淳志七段・吉原由香里六段



開会式会場いっぱいの参加者！



交流会場は暑すぎたよー  
沢山の氷柱と扇風機



交流大会・・・4局対局しました





吉原由香里六段の入門教室 分かりやすい説明は好評！



熊本出身プロの指導碁



## “爛柯の会”

この八月に催された浄土真宗本願寺派住職による囲碁の会に初心者指導の講師として参加しました。この会は、毎年県内各教区の持ち回りで、年一回開催されております。

私は、かねがね囲碁普及の一翼を仏教界に担ってもらう構想を持っていました。歴史的にも、囲碁と僧侶との関わりは深く、初代本因坊名人算砂も日海という僧でした。

この会の中心的役割をされている天草の観乗寺 藤田住職の尽力で、今回囲碁を全く知らない若い住職数名の方が練習生として参加していました。当日、練習生の皆さんに囲碁のルールとマナーを指導し、早速リーグ戦形式の対局をしてもらいました。九路盤の対局とあって石を取ったり取られたりしながらの対局でした。初めてでも楽しく打てるものです。

翌日も早朝から、残りの対局をして優勝者を決定しました。参加者からは、「大変面白く楽しかった、来年もまた参加したい」という声をいただきました。

来年も囲碁を知らない若い住職さんに参加していただき、囲碁文化を門徒の皆さまや寺小屋合宿などで多くの子供達に伝承していただければと思っております。

※表題の爛柯とは中国の故事から出た言葉で囲碁のことです。

(記 江藤)

## 武蔵ヶ丘コミュニティセンター 子ども囲碁教室が始まりました

菊陽町武蔵ヶ丘コミュニティセンターでは、9月7日(土曜日) 待望の子ども囲碁教室が始まりました。

この日は、保育園年長組から小学5年生までの8名の子どもたちが集まり、囲碁のルールや礼儀、ポン抜きゲームなどで第1回目の教室をスタートしました。

講師として桑原五夫氏、古賀征生氏の両名が当たられ、万全の指導態勢が整いました。 また、開講日のこの日は成人教室のメンバー5名も応援に駆け付けられ、子どもたちに指導対局をして貰いました。

教室はこれから毎月、第1・3・5の隔週土曜日(午後2時間程度)に開かれます。

開講にあたっては熊本囲碁普及会のスタッフの強力な支援を頂き、この日を迎えることができました。特に西山育子氏、江藤茂氏、又、阿蘇の藤崎幸次郎氏には3回の入門教室講師を務めて貰い、バックアップして頂きました。大変お世話になりました。

紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

記 武蔵ヶ丘コミュニティセンター 西嶋 巖



19路盤で対局できるお友だちもいます



# 天草上組児童一泊キッズサンガ2013「囲碁教室」

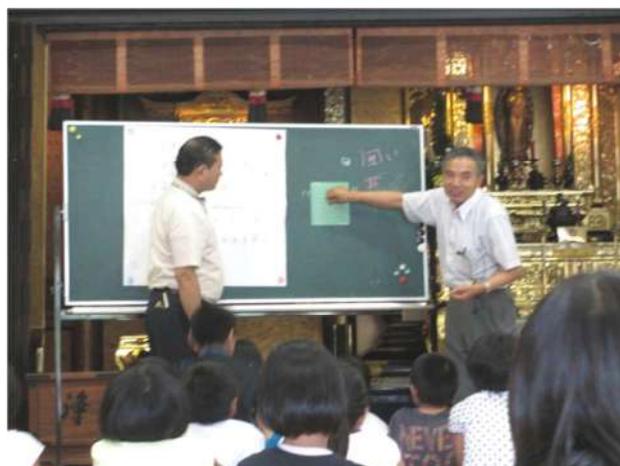
8月22日(木)から一泊で開催された浄土真宗本願寺派熊本教区天草上組寺院連合主催のキッズサンガ 2013におけるプログラムに、23日(金)10時から「みんなで囲碁を学ぼう」という時間を設けていただきました。

この合宿は今年で14回目。それぞれの檀家の子ども達44名が参加していました。今年は龍ヶ岳町極島 観乗寺でした。熊本子ども囲碁普及会の江藤さん井上さんと西山が参加しました。広い本堂に44名の子ども達が集まり、囲碁の歴史、マナー、ルールについて説明を受けたあと、2組に分かれて石取りゲーム。

ふた組に分かれての石取りに皆張り切って燃えていました。参加学年が3年生以上ということもあり、9路盤に向かい合っの対局もすぐに理解でき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

主催者のプログラムには立派な「囲碁入門」のテキストも組み込んでありました。子ども達がこれからも引き続き囲碁を楽しんでくれることを願います。

また、江藤さんが昼食を共にした小5の女の子に「この合宿で学んでことは何ですか」と尋ねたら、「命の大切さです。」と答えたことが印象的でした。  
(記 西山)



## 子育てと囲碁

子育ては人生の中の一大事ではありますが、とても大変なものです。

親は元々親ではなく、子供が産まれてから親になるものです。

頑張ってお父さん、お母さんをやっているんですよね。

だから時々迷ってしまうことも当然の事ですが、子供にはなかなかそういう姿を見せられないものです。

子育ての中で大事なものは、実は親が全力を出している所を見せることなのです。

日常生活では長期的に頑張る事はたくさんあるのですが、全力で走る、全力で考えるなど、目の前で頑張りを子供に見せる機会は実は少ないのです。

子供の視点は短期的なものをはっきり捉えるので、長期的な頑張りはなかなか伝わりにくい、という性質があります。

しかし、小さい時からこういう姿を見せておく事によって、大きな信頼関係が生まれてきます。昔は家の仕事を一緒にやることも多かったのです。逆に言えば、現代の子育てで不足しているのはそこではないか、と感じます。

同じ土俵で全力を出すことが一番子供の視点でわかりやすい、という事です。囲碁においては、自分の強い所、弱い所、力強さや迷いも形として現れてきます。自分の弱い部分を見せるという事は、信頼の証として深層心理に響き、深い絆を生む助けになります。もちろん、親にとっても子供の成長を見て取れるのは有益な事ですね。

子供に習わせる、教える、という形を一步超えて同じ方向を向いて共に伸びて行く、



そういった競技は多くはありません、囲碁や音楽もそういった部分は非常に優れているのです。

ただ、子供の方が伸びるスピードが速いのでその点は大人が割り切ってやらないといけません。

負けても勝っても楽しくやった方が長続きするのは当たり前前の事ですね。

囲碁が子供の脳の発達にいい、というのはよく言われますがこう

いった優れた 点もあります。

子育てを素敵なものにする、その道の一つに取り入れる価値は大きいと思います。

また、そういった思いで囲碁の良さを伝えて行くと、また違った輪が広がって行くのかも知れませんね。

子育ても囲碁もやってみなくては分かりません。

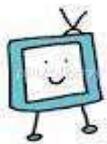
そして、共に頑張って無駄になる事は無いのです。

和太鼓教室おんがくの森 代表坂本新吾 (さくら通り、蓮台寺囲碁教室代表)

電話 08033760407

メール [wadaiko@ongakunomori.net](mailto:wadaiko@ongakunomori.net)

ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/humanitysingo1978>



**ぜひ、見てくださいね！**

県立宇土中学校での囲碁授業の様子は、以前囲碁便りで紹介した通りですが、この度、テレビでその様子が放送されることになりましたので、ぜひご覧ください。また月刊「碁ワールド」10月号に、和田紀夫日本棋院理事長、辰巳琢郎評議員(俳優)、小川誠子六段の特別座談会が六ページにわたり掲載されています。その中にも宇土中学校のことが大きく取り上げられていますので、碁ワールドもぜひご一読下さい。

10月27日(日) NHK Eテレ 午後0:00~0:30  
「囲碁フォーカス」

# 初めての大会に参加して・・・



RKKの大会に参加した7名は対外試合は全員初めて。      どんなところでどんな人たちと対戦するのか、すごく緊張していました。初戦、二戦はその緊張からか負けが先行しましたが、三戦目からは落ち着きを取り戻して戦い、終わってみれば7名の合計は14勝14敗。私たちの予想以上の成績でした。

応援に来た保護者の人達も多くの子どもたちの参加と、わが子の試合の様子を見て感動したようでした。

子どもたちの感想は「楽しかった。また参加したい」と参加して良かったとの声ばかりでした。お世話いただきました役員・スタッフの皆様ありがとうございました。

一新子ども囲碁教室 会長 毛利秀士

## ● 第3回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 熊本県予選のお知らせ

- 日 時 10月13日(日) 午前10:00～(受付9:30～)
- 場 所 日本棋院熊本県本部(熊本市白山2-1-1 白山堂ビル3F 096-363-4964)
- 会 費 無料(弁当・賞品なし)
- 形 式 低学年(1～3)・高学年(4～6)に分かれ、オール互い戦によるトーナメント方式  
各代表(一人)は12月14.15日 倉敷市にて全国大会に出場します。
- 申し込み 10月6日までに各教室に申し込んで下さい。

## ● 第8回子ども囲碁交流大会のご案内

- 日 時 10月20日(日) 9:20 受付 9:40 開会(昼食後終了)
- 場 所 東部交流センター(熊本市東区戸島町 096-349-0888)
- 会 費 500円(弁当付き)
- 申し込み 10月15日まで各教室へ

**各地の教室**・・・熊本母と子の囲碁教室(096-370-2263)・託麻囲碁クラブ(096-382-0174)・日本棋院玉名支部教室(0968-74-4968)・一新こども囲碁教室(096-352-7639)・尾ノ上コミュニティセンターこども教室(096-340-8731)・玉名立願寺楽碁長屋こども教室(0968-73-9008)・RKKカルチャーセンターこども囲碁講座(096-383-3900)・佐土原こども教室(096-367-1707)・さくら通り・蓮台寺 親子囲碁交流会(080-3377-0407)・日本棋院人吉球磨支部教室(0966-28-3111)

**編集後記** この夏は、熊本放送主催の囲碁将棋大会が開催されました。この大会に一新教室の子ども達に参加し、初めての対外試合を経験しました。大会で自分の力をためすことも重要ですが、他の教室の子ども達との交流も楽しく思い出に残ることでしょう。NPO 法人も趣意書ができ、協力会員の募集を始めることになりました。県下の学校等に囲碁が広まる予感です。今から日暮れが早くなり、保護者の送迎も大変かと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。(記 西山)